

令和8年1月 定例教育委員会（公開）

1 日 時 令和8年1月30日(金)13:30～

2 場 所 鳥取市役所本庁舎7階 第2会議室

3 出席者

教育長 : 河井 登志夫
委員 : 前田 哲雄
委員 : 谷口 なおこ
委員 : 中井 英子
委員 : 住川 英明

〔事務局〕

副教育長：徳高 雄一郎
次長兼教育総務課長：山名 常裕
次長兼学校教育課長：浅見 康陽
次長兼総合教育センター所長：狩野 司
校区審議室長：岡部 孝志
学校保健給食課長：蔵増 彩
文化財課長：佐々木 孝文
生涯学習・スポーツ課長：浜田 哲弘
中央図書館館長：中島 泉
学校教育課参事兼指導係長：福山 暁博
学校教育課参事：平戸 由美
教育総務課長補佐：前田 英樹

〔傍聴者〕 なし

4 会議次第

行事報告及び行事予定について

〔教育総務課〕P.3

【説明・協議事項】

- (1) 令和8年度鳥取市一般会計当初予算について 〔各課〕当日配布
(2) 令和7年度鳥取市一般会計補正予算（2月補正）について 〔各課〕当日配布
※説明・協議事項（1）から（2）は、鳥取市教育委員会会議規則第14条第1項に基づき、公開しないこととします。
(3) 西郷地区の教育を考える会要望書提出について 〔校区審議室〕P.5

【報告事項】

- (1) 令和8年第1回市議会臨時会の報告について 〔各課〕P.6

- (2) 第2期鳥取市学校教育情報化推進計画(案)について [学校教育課] P. 16
(3) 令和7年度 通学路合同点検の結果について [学校保健給食課] P. 19
(4) 学校給食の適正な金額の検討について [学校保健給食課] P. 25
(5) 令和8年鳥取市はたちのつどいの実施状況について [生涯学習・スポーツ課] P. 27

【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について
[2月] 令和8年 2月26日(木) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室
[3月] 令和8年 3月27日(金) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎7階 第2会議室
(2) 第3回総合教育会議
令和8年2月9日(月) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎7階 第2会議室

5 会議概要

行事報告及び行事予定について
教育総務課長(資料に基づき説明する。)

【説明・協議事項】

- (1) 令和8年度鳥取市一般会計当初予算について
(2) 令和7年度鳥取市一般会計補正予算(2月補正)について [各課] 当日配布
※説明・協議事項(1)から(2)は、鳥取市教育委員会会議規則第14条第1項に基づき、公開しないこととします。
(3) 西郷地区の教育を考える会要望書提出について
校区審議室長(資料に基づき説明する。)

【質問】

(前田委員)

西郷地区の考える会から、将来的に統合等を判断する際の当会としての考えを要望書として提出するという事で、具体的にどんな要望が上がっていたのでしょうか。

(校区審議室長)

一番大きかったのは、放課後児童クラブをすごく大事にされてるところがあって、そういったものを残していきたいということを強く言われてたところが印象的なところでした。あとは小学校の場所については、できればバス路線の沿線がいい。義務教育学校というものを作るとしたら、もう1回河原の中でよく協議をさせてもらいたいということがございました。もう1つよく言われてたのは西郷で色々取り組みをされてることを学校運営の中に反映させていただくというようなところをよく検討してもらいたいということでした。

(前田委員)

大変地域とのつながりが強いところですから、色々あるのではないかと思います。

(中井委員)

南ブロック協議会の全ての学校から要望書が出されたということなんですけど、統合をしたいというご意見なのか、残してほしいというご意見なのか、そのあたりはどうでしょうか。

(校区審議室長)

南ブロックの中で河原中学校区の3つの小学校から要望をいただいて、あと佐治と用瀬はまだいただいておりません。統合したいかどうかというところでいきますと、統合したいというところと統合は止むを得ないというようなニュアンスのところがあり、いずれにしても、統合に向かって検討していくべきじゃないかというような要望の内容でございます。

(谷口委員)

統合について、地元の方はご存じなのでしょう。

(校区審議室長)

河原第一小学校はすでに地域に出されています。散岐小学校についてはペーパーでこういう要望書を出しましたということを出されています。西郷は時期がまだ先ですが、3月ぐらいにたよりを全戸配布しようということで動かれるようです。西郷はまだ出されていませんが、色々と意見交換する中でこういう動きをしているということは、おそらく地域の方もご存知かと思います。考える会ということで色々な立場の方々からご意見伺っていますので、伝わっているかと思います。

(谷口委員)

もっと広い範囲には出てないのでしょうか。意図としては、私の知り合いで今市内の学校に通ってるけど小さい学校がいいなってことで、河原町のこの地域の学校に行くために3月に引っ越しをするという方がおられます。この情報を出していいのかどうか分からなかったのも何も言っていないんですが、そういう方もおられるのではないかと思います。統合となると話が違くなって思われるんじゃないかと思います。

(校区審議室長)

まず、西郷の方にはまだ出てないのでいきなり鳥取市全域に、ということはありません。用瀬や佐治の南ブロックの方にもまだ言っていない。南ブロックの会議を2月の上旬にやろうと思いますので、そこで伝えるような形にさせていただこうと思っています。あと、学校の入学についての手続きが色々と担当課から届いてと思うので、もし学校が変わることになると学校に確認したり、教育委員会に確認したりということがあるかと思います。そこで行きたい先の学校の情報は伝わるのかなと、そういうフォローもできるのかなと思います。

(谷口委員)

わかりました。せっかく小さい学校に思っただけに行かれていますのに、統合になる、家から遠くなるとかそういう問題が出てくるんだったら、聞いてなかったのについていう話にもなるのかなと思って気になったので聞いてみました。

(住川委員)

検討委員会で今後検討を深められるということなんですが、具体的にいつ頃を目途に委員会としての意見をとりまとめるのでしょうか。というもの先ほどお話があったように統合したいという学校とやむを得ないという学校、その微妙なニュアンスの違いがあるのでなかなか決めがたいとは思いますが、かといっていつまでについていうゴールが見えないとずっと続いていきそうな気がします。もしそういう目安があれば、教えていただきたいです。

(校区審議室長)

目安はお伝えできないところがありますが、関係する学校の方でまず話し合っていく、その中で、例えばやはりまだ先でいいとか、早くやりたいという気持ちがあるようでしたら、もし意向があれば逢坂小学校のように先についていうのは今後議論を深めていながら対応すると、地域の子どもたちのために対応できることをやっていきたいと。いずれにしても話し合いを持って、十分踏まえた上での対応をしていきたいと思います。

【報告事項】

(1) 令和8年第1回市議会臨時会の報告について
各課長（資料に基づき説明する。）

(2) 第2期鳥取市学校教育情報化推進計画（案）について
学校教育課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(中井委員)

15番の未整備の家庭に支援を行っているということなんですが、これはこういった内容ですか。

(総合教育センター所長)

全額ではなく、希望があれば補助をしています。

(中井委員)

家庭から申請が出たら補助があるんですね。活用しておられる家庭もありますか。

(総合教育センター所長)

やり始めた頃は多くの活用がありましたが、だんだんと家庭にWi-Fiが普及してきて、減ってきています。

(中井委員)

河井教育長のご挨拶にもありましたが、今後AIができることは人間の仕事からAIに移っていくということがどんどん進んでいくんだろうなと思います。そうなりますとこのAIとかICTを活用して自分の意見をまとめる、さらに人にそれを伝える、自分は思うかっていうことと、どういうふうに形にしたら相手に伝わるかっていうようなところまでを教育の中でしていくことがすごく大事だと思っています。自分の考えをわかりやすくまとめる方法というのもすごく今多様化していて、言葉だけではなくて、どういう形だったら人に伝わりやすいのかを考えるっていうのが、相手があってこそその考え方になるのかと思うので、そういうような内容を教育の中でしっかり取り入れていただけるといいのかなと感じました。

(学校教育課長)

先ほど言っていました生成AIの活用というのはこれから必須になってくるだろうと思っています。教員が業務で使うだけではなくて、子どもたちが学習で使うということも当然視野に入れていかないといけないと思っていますし、そういう情報をまとめたものをさらに自分の頭で考えて人に伝えるようにしていくという力も大事だと思っています。

す。前回の教育委員会のときに報告させていただきました全国学力学習状況調査でも、鳥取市の子どもたちは人にわかりやすく伝えるっていうところが弱いというデータも出てますので、そういうような生成 AI の活用も含めて、しっかりと自分の思いをまとめて発信していくという力をつけれるように取り組みを進めていきたいと思っております。

(住川委員)

一番大事なのは、現在どう進めるかっていうことももちろんあるんですけど、ある程度進んだ段階でその進め方がどうであるかっていうことを検討する 16 ページの推進体制および進行管理、その部分が非常に大切なんじゃないかなと思っています。といいますのも、発達段階に合わせるっていうこと、目の前で日々生きている子どもたちの発達ということもありますから、元々不動のものではなくて、やはり子どもの現状というのはどんどん変わっていく部分もあります。ですから進めてきたんだけども中期的長期的にどうなのかっていうことを振り返る機会を確実に捉えてやっていかないと大変なんじゃないかなって思います。国が進めていることでもありますから、国の進め方と考え方も大きく影響するのはもちろんなんですけど、やはりこの土地、鳥取市の子どもたちということについての視点を大切に持っていただいて、不断に検証していくっていうことが必要なんじゃないかなと思います。私の専門の方で言いますと、やはり書くことがどんどんなくなっています。先ほどのようなご意見も中にもありましたけれども、書くことがこのままどんどん減っていいのだろうか。例えばデジタル先進国でも、紙ベースに立ち戻ろうとしている動きもあるということはお聞きします。ですからその点、国がどう考えていくかっていうことはもちろんなんですけど、その一方でやはり私達がどう考えていくかっていうことをやはり検証していただきたいなと思います。その際にチェックをするわけですが、それをどのような指標でチェックしていくのがすごく大切になってくると思われますので、既にもうこの情報化推進検討部会なり推進委員会なりは動いているのかもしれませんが、そこでもまずそのことに取り組んでいただきたいなと考えています。

(学校教育課長)

今までこの GIGA スクール構想が入ってきて、まずは使うこと、そして効果的な使い方を考えること、というふうに進んできていますけども、今度は色々な情報が蓄積されてきたら、本当に効果があるのかっていう検証も合わせてしていけないのかなというの、今お話を聞いて思ったところです。先ほどどのような指標でということもおっしゃっていただきましたので、また委員会の皆様の力を借りながら考えていけたらと思っております。ありがとうございます。

(前田委員)

ICT がどんどん進んでいって、現場の先生は大変ですね。OJT の研修の中身がこういった新しいことについてどう対応するかという研修に追われて、ICT は手段でしかないはずのものが何か研修の本筋になってしまっているような気がします。本来、もっと学校の先生が教員としてすべきことって、本筋のところがあるんじゃないかと思ったりしたときに、働き方改革もありますから遅くまでできませんし、これがどんどん進んでいくのを止めるわけにはいきませんか。仕方ないと思いますが、そのあたりがちょっとつらいなと思いつつながら読ませていただきました。

もう 1 点、8 ページのところの登校渋りという表現がありますが、この言葉を文書の中で使うということはどうなのかという辺りは検討してみてもらった方がいいのかなと思います。多分文科省は使っていないと思います。こういった不登校関係の研修だとかの資料等には使われることがあるかもしれませんが、直接不登校のことを取り上げたものでは

ない資料の中でこの言葉を使うということはどうなのか、確認していただけたらなと思います。

(学校教育課)
確認します。

(3) 令和7年度 通学路合同点検の結果について
学校保健給食課長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(前田委員)
実施箇所が減っていますが、これはなんで減ったのでしょうか。

(学校保健給食課長)
24年度からずっと続けていると報告させていただきましたが、だいぶ対策というのが進んできております。例えば歩道の整備や横断歩道の設置とかゾーン30とか、色々な取り組みをしていく中で必要な箇所というのは徐々に減ってきております。ただ一方で新しい道路ができたとか、通学路が変わったとかってというような状況があって出てくる新規のものもありますので、全体的には減ってはきているという状況です。

(前田委員)
点検自体は全校区でやっておられるのでしょうか。

(学校保健給食課長)
そうです。

(谷口委員)
点検はどういう方がされているのでしょうか。

(学校保健給食課長)
点検は教育委員会と学校と保護者、それから警察、道路管理者です。例えば国道だったら河川国道事務所、県道でしたら県土整備局、市道でしたら鳥取市の道路課が一緒になって、その場所をずっと歩いてみてっていうような点検をしております。

(谷口委員)
今PTAがなくなってる学校がだんだん増えてきたので保護者は、こういった方が出られるのでしょうか。

(学校保健給食課長)
学校の保護者の代表の方とかにも出ていただきますし、場所によっては保護者は特に同席しませんと言われる学校もございます。ただそのときは地域の方がパトロールとかで見守ってくださってる方々が一緒に同席をしてくださったりしています。

(谷口委員)
保護者からの意見としては、学校内でまとめられてるのを提出されるということですか。

(学校保健給食課長)

一応毎年学校の方に点検必要箇所というのを照会かけておりますので、学校の方で意見を集約されて市教委に出てきているというところです。

(4) 学校給食の適正な金額の検討について

学校保健給食課長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(前田委員)

7年度時点での1食単価は規模が小さいセンターの方が単価が安いんですね。逆な感じでまとめて作った方が安くつくような感じがしますが。

(学校保健給食課長)

各センターの単価というのは合併したときから変わっておらず、合併調整の中ですり合わせがないまま今に至っているというような状況で、それぞれの単価で作ってきているという状況です。ですので鳥取市としては一律の単価にまとめたいと思っています。29年度までは公会計ではなくて私会計でしたので、学校で集めた給食費がそのまま給食センターに行ってその中で食材を買っていくような状況だったんですけど、30年以降公会計になってからも給食費を一律にはできてなかったんで、一食あたりの検討をするにあたって統一したいと考えています。

(前田委員)

平成16年から変わってないということですね。

(学校保健給食課長)

そうです。平成16年に合併しましたが、変わっていません。

(谷口委員)

給食費は補助は入っていないんですか。各家庭がみなさん実費で払っているのでしょうか。

(学校保健給食課長)

資料に書いてある令和7年度の1食単価っていうのは、保護者の方に払っていただいています。実はこの単価ではできていませんので、それを超える部分の食材費を公費で補填している状況です。

(谷口委員)

低所得の家庭からも徴収はされているのでしょうか。

(学校保健給食課長)

就学援助世帯の方については要保護の方は給食費は0円、準要保護の方は7割は鳥取市負担で3割は保護者の方に負担していただいている状況です。

(谷口委員)

それが、今後国の動向についてというところでは、小学校は 5200 円ぐらいが自治体に対して入ってくるということで、家庭からの徴収はなくなると思っていたんですが違うんでしょうか。

(学校保健給食課長)

26 ページの表の基準額のところで、鳥取市は完全給食をしているのでこの金額になるんですが、小学校・義務教育学校教育課程ですと、国の方が支援する予定は今のところ 5200 円で、これが鳥取市でいうところの単価 284 円とちょうど同じくらいです。なので 284 円の単価のままであれば保護者さんの負担っていうのはないんですけど、今実際にそれではもうできておらず、320 円ぐらいで作っています。

(谷口委員)

飛び出た部分については、徴収があるということですね。

(学校保健給食課長)

現時点では、そうです。

(谷口委員)

でも、今負担していただいている金額で考えると、だいぶ減るっていうことですね。

(学校保健給食課長)

今まで小学校だと 5200 円ぐらいを月額で負担していただいていたのが、これが入ることによって単価が上がったとしても若干下がっていくと思います。

(谷口委員)

完全に無償化になるという感覚だったのでこういう違いがあることは保護者さんにはお知らせをされていた方がいいかと思います。

(学校保健給食課長)

まず運営委員会で保護者の代表の方にお知らせさせていただいて、その後保護者の方に紙と学びポケットでこういった検討していきますっていう中に書かせていただいています。私達も無償化だとだと思っていたんですが、名称も変わって抜本負担軽減という形になっております。

(教育長)

名称については、自民党、公明党、維新の会の 3 党合意の政治主導の中で、学校給食の無償化という言葉が世間に広まったというのがあります。来年度予算の編成の中で、文科省と政党とのやり取りで、国の方から文科省としては、課長が説明しましたが 26 ページ一番上に書いてある、学校給食費の抜本的負担軽減という名前で通してくれということで収まってる。ただ、政治的にはいわゆる学校給食無償化というのは残ってますけども、基本的にはこの抜本的な負担軽減ということで理解をいただいたいただきながらということで、そして給食センターでの委員としての保護者の皆さんの意見としてもやはり早めにこの状況というのを伝えてほしいというのがありましたので、紙ベースでそしてデータで配信をしているというところであります。

- (5) 令和8年鳥取市はたちのつどいの実施状況について
生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(谷口委員)

終わった後のアンケートの回答率が1200人を超える方が参加されて75人というのは少ないと思うので、もう少しここが伸びるような取り組みを今の時点で何か考えられてることはありますか。

(生涯学習・スポーツ課長)

現時点ではないんですけども、やはり何かしら返してもらえる工夫をしていこうかと考えています。

(谷口委員)

これはメールアドレスに何か送って、そこから答えてもらうような感じですか。

(生涯学習・スポーツ課長)

直接そこで入力できるような形ですが、やはり手間はかかりますから、していただけなかったんじゃないかなと思っています。

(谷口委員)

よく会場出るときにQRコードがあって、その場でやったらなにかポイントがもらえるみたいなものがありますね。

(生涯学習・スポーツ課長)

メリットが何かあればしてもらいやすいかもしれません。

(谷口委員)

参加されていない方はそれができないので、メールに送ってっていうのはできるといいと思いますが。

(生涯学習・スポーツ課長)

事前申し込みをしたけど参加されなかった方にも送っています。そういった方々にも参加されなかった理由は聞きたかったんですが、今回は回答がなかったです。

(谷口委員)

参加されなかった方はQRコードは読み取れないから、QRコードをあらかじめ送っておくとか、何かできればいいのかなとか思います。見返りじゃないけどちょっとした何かがあると回答率は上がるのかなと。このアンケートをどういうふうに今後使っていきたいかっていうことも、費用をかけてそこまでの内容はいらないというのであれば今の状況でもいいのかなと思うんですけど、せっかくアンケートを取るのに、何かもったいないなと思います。あとその他とか特になしとかっていうネガティブな回答をされた方にそれはなぜか、みたいなのも聞いてみたいなって思います。

(生涯学習・スポーツ課長)

今回初めて行いましたので、ネガティブな意見の回収ができるように努めたいと思います。

【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

[2 月] 令和 8 年 2 月 2 6 日 (木) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 6 階 第 4 会議室

[3 月] 令和 8 年 3 月 2 7 日 (金) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 7 階 第 2 会議室

(2) 第 3 回総合教育会議

令和 8 年 2 月 9 日 (月) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 7 階 第 2 会議室

14 : 40 閉会